

広報2018

ちの
Chino City

平成30年
No.889

7月号



写真で振り返る茅野市の60年

【今月の表紙】

表紙の写真は、現在の茅野市の航空写真です。今年で市制施行60周年を迎える茅野市。今月号では、その60年の出来事と変化を写真で振り返ります。

【撮影：国際総合企画株式会社】

茅野市の足跡 写真で振り返る60年



茅野市が誕生して今年で60年。まずは写真とともに過去のできごとを振り返ります。

茅野市市制施行（昭和33年）



市制施工当時の庁舎。市制施工当時から使用され、33年と2か月間茅野市の顔として親しまれました。



庁舎竣工記念祝典が盛大に行われました。写真は餅投げをする様子。

第1回茅野どんばん（昭和51年8月）



一番最初の市民祭「茅野どんばん」の様子。大勢の子どもたちが参加し元気に神輿を担いでいます。

縄文のビーナス出土（昭和61年）



棚畑遺跡緊急発掘中に出土した土偶「縄文のビーナス」、平成7年には日本最古の国宝に指定されました。

国際スケートセンターオープン（平成元年）



氷上でテープカットが行われました。今年、小平奈緒選手にちなんだ愛称が付けられます。

市役所新庁舎オープン（平成6年）



現在の庁舎になったのはこの時です。外観は、八ヶ岳連峰をイメージしており、新しい茅野のシンボルとしてふさわしい風貌となっています。

新尖石縄文考古館オープン（平成12年）



縄文のビーナスが国宝に指定されたことを契機に、参加・体験型の新しい博物館として尖石縄文考古館がオープンしました。

仮面の女神出土（平成12年）



湖東山口の中ツ原遺跡で出土しました。約4000年前のもので平成26年に国宝に指定されました。

茅野市民館オープン（平成17年）



「市民一人ひとりが主役になれる市民のひろば」をコンセプトにした文化複合施設です。

ゆうゆう館オープン（平成26年）



茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯（愛称：ゆうゆう館）がオープン。

ひと・まちプラザオープン（平成28年）



まちづくりの拠点となる複合施設としてオープンしました。中には「ゆいわーく茅野(市民活動センター)」があります。

八ヶ岳JOMONライフフェスティバル（平成29年）



縄文をまちづくりに生かす取り組み「縄文プロジェクト」の一環として、初めて開催されました。縄文カフェ、夜の火祭りなど様々な催しが行われました。

60年という永い歳月をかけて変化してきた茅野市の景色。
 続いては懐かしい景色と現在の景色を見比べます。

▼茅野駅(昭和33年頃)



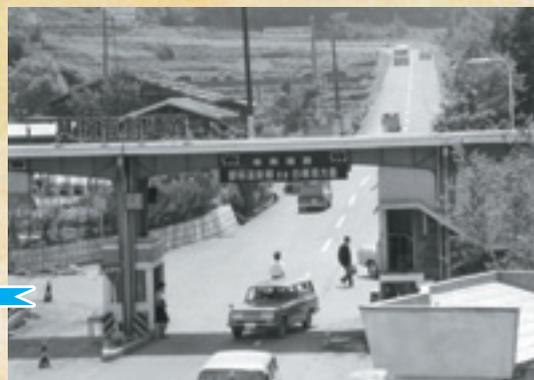
▼駅前商店街(昭和33年頃)



▼本町商店街(昭和30年代)



▼蓼科有料道路芹ヶ沢料金所(昭和38年頃)



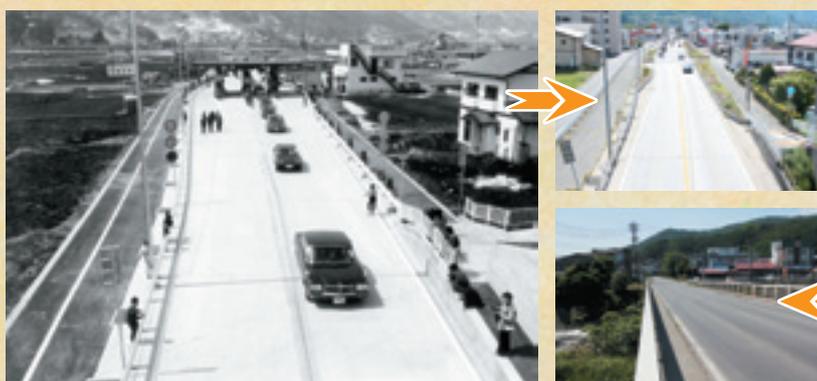
▼葛井神社周辺(昭和30年頃)



▼青柳駅(昭和35年)



▼あけぼのトンネルからみた横内
 (昭和59年頃)



▼粟沢橋(昭和44年)

